



新発田城を背に第1走者がスタート！



ゴールのヨリネスしばたで最終走者を出迎えました



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020

# 新発田に聖火がやってきた！

6月5日に東京2020オリンピック聖火リレーが行われ、当市から選出された4人を含む13人のランナーが、新発田城址公園からヨリネスしばたまでの約2.7kmを駆け抜け、聖火をつなぎました。

今回の特集では写真とともに、この歴史的な一日の様子などをお伝えします。



Photo by Tokyo 2020



広報しばた 令和3年7月1日 | ②



Photo by Tokyo 2020

トーチキス後に決めポーズ「東京2020がんばろう！」



Photo by Tokyo 2020

世の中が意気消沈しているので、この聖火リレーをきっかけに、多くの人に元気を出してもらいたいという思いをこめて走りました。沿道に、友人や知人、会社の人々が駆けつけ、盛り上げてくれたことが本当にうれしかったです。こんな時だからこそ、みんなの前を向いて進んでいけたらと思います。



第8走者  
高澤 大介さん



Photo by Tokyo 2020



第1走者  
みよ 美遠 さゆりさん

私は「知的障がい」を持っていますが、見た目では判断できません。そういう障がいがあることを多くの方に知ってもらいたいという思いで走りました。第1走者でとても緊張しましたが、多くの人に応援してもらえてうれしかったですし、楽しく走れました。8月に開催されるパラリンピックに、卓球代表として出場できるかはまだわかりませんが、出場したら金メダルを取れるようにがんばります。

## 聖火に込めたランナーの思い

大役を務め終えた当市のランナーの皆さんに、どのような思いで聖火をつないだのか伺いました。



Photo by Tokyo 2020

障がい者スポーツを多くの人に知ってもらいたいという思いで臨みました。障がい者スポーツにもいろいろな種類があり、障がいを持つ人でもできるものがたくさんあるので、多くの人に、興味を持って始めてもらえたらうれしいです。ノルディックスキー代表として、来年の3月に行われる冬季パラリンピックに出場できるように、これからもしっかり練習していきます。



最終走者  
出来島 桃子さん



Photo by Tokyo 2020

私は、粟島航路を維持するための活動をしています。感染症の影響で粟島への移動が難しい状況ですが、そんな中でも、粟島とつながりたいという思いで走りました。この聖火の光を、粟島の皆さんにも見てもらえたと思っています。また、私が参加している三之町台輪の前でトーチキスをすることができ、とてもうれしかったです。



第7走者  
井上 智弘さん

### 新発田市ミニセレブレーション

聖火リレーが実施されたことを祝う式典「新発田市ミニセレブレーション」がヨリネスしばたで開催されました。「しばたパフォーミングキッズ」が創作ダンスを披露し、最終ランナーの出来島さんが到着すると、会場は大いに盛り上がりました。二階堂 馨市長の挨拶の後、聖火はトーチからランタンに納められ、次のリレー会場へ届けられました。



▲ランナーたちがつないだ聖火を納火



▲しばたパフォーミングキッズの皆さんが、式典に華を添えてくれました



▲沿道からの温かい応援がランナーの力になりました



▲聖火リレーの方法は現在も引き継がれています



▲第6区から第7区への聖火リレー



▲第2区を走った大竹静男さん



今回のユニフォームは神事に起源をもつ「たすき」を、トーチは日本人に最もなじみ深い花である「桜」をモチーフにしています。



ユニフォームは第2区を走った大竹静男さんから、トーチは第7区を走った長谷川峻さんからお借りしています。保存状態もよく、大変貴重なものです。



ヨリネスしばた1階では、8月8日(日)まで聖火リレーで使われたトーチやユニフォームなどの展示を行っています。

東京2020オリンピック聖火リレー 令和3年6月5日



▲走り終えた13人のランナー。皆さんいい笑顔です

新発田市に残る  
聖火リレーの歴史

1964年から、57年の時を経て行われたオリンピック聖火リレー。当市の歴史に、新たなページが刻まれました。

1964年東京オリンピック聖火リレー 昭和39年10月1日



▲当時リレーを走った9人のランナーは、健民少年団あすなろ会員(高校生)でした